

保健医療福祉労働組合協議会

—JAPANESE HEALTH CARE WORKERS' UNION—

(略称=ヘルスケア労協：JHU)

私たち、保健医療福祉労働組合協議会（ヘルスケア労協）は、保健医療・福祉職場で働く労働者で組織された労働組合の産別組織です。

1970年代前半からの「総評医療共闘」や、その後の「全国医療等関連労働組合連絡協議会(全国医療)」(結成1989年11月、解散2007年12月)に加わっていた日本赤十字労働組合(日赤労組)、全済生会労働組合(全済労)、北海道社会事業協会病院労働組合(協病労組)の3労組が、保健医療・福祉関係労働者のための運動を進めるためには産別組織の結成が必要であることを確認し、結成準備会での協議を経て、2002(H14)年11月16日に「保健医療福祉労働組合協議会(ヘルスケア労協：JHU)を結成し以下の「運動の基本」と「運動の課題」を確認し活動しています。



現在は、日本労働組合総連合会（連合）、国際公務労連（PSI）とその日本国内の加盟組合で組織するPSI加盟組合日本協議会（PSI-JC）、フォーラム平和・人権・環境（平和フォーラム）、労働者福祉中央協議会（中央労福協）に加盟し、保健医療・福祉をはじめとした公共サービスの向上をめざすとともに、人権と平和そして労働権を守る取り組みを行っています。

運動の基本

1. 私たちは、これまで積み重ねてきた運動の成果と信頼をもとに、新たな組織を創りあげ、保健医療・福祉で働く多くの労働者の結集をめざすとともに、内外の諸組織・諸団体と連帯する運動を展開し、あらゆる場面での発言力を高める。
2. 私たちは、健康はすべての人がもつ基本的権利であることを理解し、あらゆる人々が安全かつ安心して利用できる保健医療・福祉制度の確立と充実をめざす。
3. 私たちは、この運動によって保健医療・福祉分野で働く労働者の経済的・社会的地位の向上をめざし、一層の組織化によって労働組合の影響力を強めるために構成組織の自主性を尊重しつつ、労働者が直面する課題に立ち向かい、その解決に努力する。

運動の課題

- 労働基本権を確立し、豊かな生活と尊厳ある仕事の実現をめざします。
- 性別、雇用形態などあらゆる属性の違いにかかわらず賃金をはじめとする労働諸条件の均等待遇をめざします。
- 労働時間の短縮、完全週休二日制の実現、夜間・交替制労働の軽減をめざします。
- ILO看護職員条約（149号）の批准と勧告（157号）の適用をめざします。
- 公的責任を明確にした社会保障制度の確立をめざします。
- すべての人々が健康を享受できる社会の実現をめざします。
- すべての人々の平和と幸福、戦争や紛争をなくし、健康を破壊するあらゆる武器を必要としない社会の実現をめざします。

加盟上部団体：

【国内】日本労働組合総連合会（連合）

PSI加盟日本協議会（PSI-JC）

フォーラム平和・人権・環境（平和フォーラム）

労働者福祉中央協議会（中央労福協）

【国際】国際公務労連（PSI）



ヘルスケア労協加盟組織：

日本赤十字労働組合(日赤労組)、全済生会労働組合(全済労)、北海道社会事業協会病院労働組合(協病労組)、小千谷総合病院従業員組合、きらり健康生協労働組合(医療生協労組)、ヘルスケア茨城、ヘルスケア神奈川、ヘルスケア岡山

連絡先：

〒 105-0014

東京都港区芝2-17-20 日本赤十字労働組合会館内

TEL 03-3454-6025 FAX 03-3451-6040

E-mail : honbu@hc.ituc-rengo.jp

